

その④

第十一回全国「みどりの愛護」



誓いの言葉

式典におけるお言葉

去る四月二十一日㈯、本部町にある国営沖縄記念公園海洋博覧会地区において、皇太子殿下御臨席のもと、第十一回全国「みどりの愛護」のつどいが盛大に開催されました。幸いに天候にも恵まれ、紺碧の大平原を背景とした緑や色とりどりの花々に囲まれた会場は、全国から招かれた約二千名にも及ぶ参加者であふれました。参加者はきっと南国沖縄の自然を満喫されたことでしょう。

ところで、わが国は緑豊かな自然に恵まれた国ですが、「この貴重な緑を守り育て親しむとともに、

その恩恵に感謝し、豊かな心を育むことを願つて、平成元年に四月二十九日が「みどりの日」として制定されました。また、併せてこの「みどりの日」を最終とする一週間が「みどりの週間」として定められました。

この「みどりの日」制定の趣旨を踏まえて、全国の公園緑地の愛護団体、道路や河川等の愛護活動を通じ、緑の保護育成を行っている団体、地域の緑化・緑の保全団体等緑の関係者が一堂につどい、広く都市緑化意識の高揚を図り、緑豊かな潤いのある住み良い環境づくりを推進するため、全国「みどりの愛護」のつどいが毎年開催されているのです。

現在は、持ち回りで全国の国営公園を会場として開催されており、二十一世紀最初となる今年の第十一回目の全国「みどりの愛護」のつどいが沖縄で開催されたといひです。

式典は、扇千景国土交通大臣、仲村正治内閣府副大臣、稻嶺恵一沖縄県知事の主催者挨拶に続いて緑化功労者の表彰と滞りなく進められましたが、特に、皇太子殿下から賜りましたお言葉は、緑化功

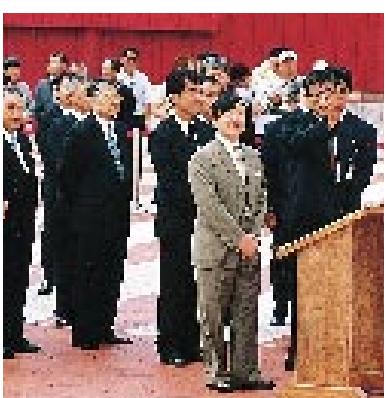
労者をはじめとした参加者一同の胸に深く刻み込まれたことでしょう。

また、地元の伊豆味小学校の代表として宣誓した阿波根悠さんと伊佐祥哉さんの「誓いの言葉」の中では、「一、わたしたちは、みんなでみどりを愛し、守り、育て、これを未来に伝えます。」、「わたしたちは、みどりに親しみ、みどりを愛する活動をさらに進めます。」、「わたしたちは、みどり豊かな美しい国土とかけがえのない地球を守つてていきます。」、「わたしたちは、みどりのふれあいを通して思いやりのある社会と平和な地球をつくります。」の四つの誓いがなされました。この誓いは、まさに皇太子殿下のお言葉に応えた力強いものに感じられました。



記念植樹

式典終了後は、熱帯ドリームセンターの園内行啓が執り行われ、皇太子殿下は、展示されているランや果樹などを熱心に御視察なされました。カトーレア温室ではちょ



首里城御視察



プリンセス・マサコ(カトーレア)の御説明

うと満開になつたプリンセス・マサコ(カトーレアの一品種)を見ました。また、IJのたびのつどいのための行啓は三回にわたるものでした。が、最後の行啓地として国営沖縄記念公園首里城地区が選ばれました。多くの観光客の出迎えの中で、展示された琉球王朝にまつわる文書の御見学がなされ、IJはして行事に行啓は終了いたしました。

また、IJのたびのつどいのための行啓は三回にわたるものでした。が、最後の行啓地として国営沖縄記念公園首里城地区が選ばれました。多くの観光客の出迎えの中で、展示された琉球王朝にまつわる文書の御見学がなされ、IJはして行事に行啓は終了いたしました。